



自主

健康

知性



校章のモチーフ
しらね葵

寒河江市立陵西中学校
学校だより
令和6年8月号
文責：校長 井上信宏

男子バレー部・水泳・体操で東北大会出場！

7月20日と21日に行われた山形県中学校総合体育大会（県大会）において、男子バレーボール部が3位に入賞し、東北大会に出場することになりました。大会1日目は、神町中と山形二中からストレートで勝ち、準決勝に進みました。2日目の準決勝は第1シードの鶴岡三中と対戦し、フルセットの末、負けてしまいましたが、東北大会出場をかけた代表決定戦では酒田四中から勝ち、東北大会出場の切符を手にすることができました。

大会当日は、保護者の方のみならず、地域の方々やクラスメートも大勢かけつけていただき、選手たちを後押ししてくださいました。本当にありがとうございました。東北大会は8月8日（木）から新青森県総合運動公園のマエダアリーナで行われます。全国大会出場をめざして頑張ってください。

また、スイミングスクールで水泳競技に取り組んでいる田中さん（2年生）が県大会に出場し、男子400mメドレーリレーで3位、男子400mメドレーリレーで4位に輝き、東北大会出場を果たしました。水泳の東北大会は8月9日（金）から、山形市の総合スポーツセンターで行われます。頑張ってください。

更に、体操クラブで体操競技に取り組んでいる小野さん（1年生）も県大会に出場し、跳馬で1位、平均台や床、段違い平行棒で2位に入り、個人総合2位に輝きました。8月3日（土）から仙台市のカメイアリーナ仙台で行われる東北大会でもベストを尽くし、全国大会出場をめざして頑張ってください。頑張れ！ 陵西中生！！



<男子バレーボール部の結果>

1回戦 対 神町中 2-0で勝ち
2回戦 対 山形二中 2-0で勝ち
準決勝 対 鶴岡三中 1-2で負け
東北大会代表決定戦 対 酒田四中
2-0で勝ち

※【第3位】で東北大会出場

<水泳競技の結果>

田中さん（2年生）
400mメドレーリレー 第3位
400mフリーリレー 第4位

※2種目で東北大会出場

<体操競技の結果>

小野さん（1年生）
跳馬 第1位
平均台 第2位
床 第2位
段違い平行棒 第2位
個人総合 第2位

※全ての種目で東北大会出場

夏休み奉仕活動がスタート

7月4日（木）に、「町会長さんと語る会」が行われ、夏休みの奉仕活動について話し合われました。その結果、下記のように決まり、さっそく7月下旬から活動が始まりました。役員の皆さまには、お忙しい中ご指導いただき、誠にありがとうございます。また、地域の課題や特性を踏まえた活動を考えていただいた地区もあるようで、子どもたちに地域の未来を託したいという思いをうかがい知ることができます。これからも、地域を担う人材を、学校と地域が一緒になって育ていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



<麓地区の活動より>

令和6年度 夏休み奉仕活動内容 一覧

町会名	日 時	場 所	内 容
米 沢	8月 3日（土） 6:30～	米沢公民館	清掃活動
高 松	7月31日（水） 6:30～	日吉神社	フラワーロードの草刈り
鹿 島	8月10日（土） 6:00～	鹿島神社	清掃活動
八 鍬	8月 4日（日） 6:00～	八鍬公民館	清掃活動
臥龍橋	8月 4日（日） 6:00～	臥龍橋石碑周辺	草むしり
谷 沢	8月17日（土）13:30～ 18日（日）13:30～	谷沢活性化センター	谷沢田植え踊りを踊る
清助新田	8月10日（土） 6:00～	清助新田公民館	清掃活動
慈 恩 寺	7月27日（土） 6:00～	慈恩寺周辺	清掃活動
日 和 田	7月27日（土） 6:30～	日和田公民館	清掃活動
下宿・箕輪	7月26日（金） 6:30～	箕輪公民館	清掃活動
陣ヶ峰	7月29日（月） 8:00～	水子神社	草刈り・整備活動
新 町	8月 3日（土） 6:00～	新町公民館	清掃活動
中 町	8月 4日（日） 6:00～	中町公民館	白岩バイパスのごみ拾い
上 町	7月21日（日） 8月 4日（日） 8:00～	夏まつり 上町公民館	夏祭りの手伝い 清掃活動
麓	7月27日（土） 6:00～	麓公民館	清掃活動
楯	7月28日（日） 7:00～	楯公民館	清掃活動
留 場	8月11日（日） 8:30～	留場公民館	清掃活動
上 野	8月 3日（土）18:00～	上野公民館広場	夏祭りの手伝い
宮 内	8月 4日（日） 6:00～	宮内公民館	公民館掃除 と 地区内のごみ拾い
幸 生	7月27日（土） 6:30～	幸生公民館	清掃活動

家庭教育アドバイザーを招いて PTA研修会を実施

7月23日（火）に、父母と教師の会主催の研修会を実施しました。今年度は山形県家庭教育アドバイザーの小松ひろみさんをお招きし、「コミュニケーションと心の健康について」という演題でお話をお聞きしました。

小松さんは、脳の働きや特性をもとに、思春期の心の健康についてお話をいただくとともに、子どもとの接し方などについて、次のようなお話をしてくださいました。



- ① スマホを4時間以上使う人は2時間以上勉強しても成績が伸びない。また、インターネットを使う習慣が多い人は感情のコントロールが難しくなり、切れやすくなる。スマホを使う約束を確認し、約束を守って使うようにしましょう。
- ② SNSには、ストーカー被害にあったり、人間関係のこじれやいじめに繋がったりする危険性があるので、十分注意しよう。
- ③ 子どもの前で夫婦ゲンカをしたり、子どもを罵倒したり無視したりすると子どもの心を傷つけてしまうことがある。親がポジティブに、笑顔で生活することを心がけよう。
- ④ どの子にもどの大人にも公平に接すること、相談できる人を見つけて人の力を借りることを忘れずに、明るくおおらかに生きていこう。

当日は、ご多用のところ、たくさんの保護者の皆さまにお越しいただき、講話を聞いていただきました。その感想をいくつかご紹介したいと思います。

- ・劇もあって分かりやすかった。今後の子どもとの接し方、関わり方を考えていきたい。
- ・みんな、同じように悩んでいることを知って少し安心した。
- ・心とメディア、成績など、さまざまなことがつながっていることを知った。子どもの話を聞き流さずに、しっかりと聞くようにしたい。
- ・子育てに関する悩みは、家庭の中だけでなく、周りの人の力を借りて親も子も成長していくのだなと思った。
- ・ストレスを受けて、流して、また明日…というのはなかなか難しいと思うが、努力してみようと思った。
- ・感情を抑えきれず、つい、頭ごなしに強めに言うてしまうことがあるので、どうしたら良いのだろうか。子どもの思い、考えも受け止められるようにしたい。
- ・注意している時にたまたまかかってしまい、子どもに指摘されたことを思い出した。もう一度、子どもとの接し方を考え、心がけていきたい。
- ・親も、子どもとの接し方を勉強しなければならない、自分を振り返る時間を持たなければならないと思った。

たいへん有意義な研修会になったようです。ご参加いただいた保護者の皆さま、誠にありがとうございました。

市政施行70周年記念事業 さがえ未来トーク

8月1日（木）に、寒河江市市政施行70周年記念事業として『さがえ未来トーク』が開催されます。（この学校だよりがお手元に届くのは開催後になります。）このさがえ未来トークは、30年後（100周年の年）の寒河江市がどんな街であってほしいかという提言を、市内3つの中学校の代表が行い、それについて討論する催しです。本校からは2年生の佐藤さん、木村さん、鈴木さんが、寒河江の良い所を案内するツアープランを提案するとともに、30年後の寒河江が理想の街になってほしいという願いを込めて、次のように提言する予定です。

<寒河江の良い所 ツアープランの提案>

- ① 一人向けプラン … 山形牛の焼き肉 チェリーランドのアイス 地元のそば屋
- ② ファミリー向けプラン … CLAAPIN-SAGAE 最上川ふるさと総合公園
市内のラーメン屋 など
- ③ 高齢者向けプラン … 慈恩寺 つつじ公園 フルーツ狩り など

<30年後の理想の街 寒河江>

- ① 「食」 … さくらんぼの品種改良
幸生牛と地場産物を使ったメニューの開発 ⇒ 新しいブランドに
- ② 「自然」 … つつじ公園の整備 ⇒ 知名度アップ
- ③ 「教育」 … 外国語の強化(留学費用の補助)
プログラミング教育の強化(市独自のプログラミング教室)
⇒ 人が集まる ⇒ 街の活性化につながる

3つの中学校が発表した後、佐藤市長や市民の代表者から質問していただき、発表内容をさらに深めていく予定です。陵西中の代表を務める佐藤さん、木村さん、鈴木さん、頑張ってください。

SOSの出し方・受け止め方研修会

寒河江市では今年度、市内全ての先生を対象に「SOSの出し方・受け止め方研修会」を実施しています。7月17日（水）に行われた第2回研修会では、前防衛医科大学校 精神看護学 教授の高橋聡美先生から、子どもが悩みを相談した時の受け止め方などについてご講話をいただきました。

高橋先生は、子どもがSOSを出した時には、ありのままを受け止めるオウム返し（受容）と詳しく尋ねる（傾聴）が大切であると教えてくださいました。例えば子どもが「進路を変えたい」と言った時には、「そんなのだめだ」と頭ごなしに言わずに、「そうなの、進路を変えたいの（オウム返し）」、「どんな進路を考えているの？（詳しく尋ねる）」のように対応すると、子どもは心を開いて悩みを相談してくれるようになるとのことでした。我々も「受容」と「傾聴」を忘れずに生徒に寄り添っていきたいと考えていますので、ご家庭や地域の中でも子どもたちのSOSを受け止めていただけたら幸いです。よろしく申し上げます。